

## 著書（分担執筆）

1. 瀬川朗. (2020). 第2章 家庭科という教科のはじまり. 河村美穂（編）, MINERVA はじめて学ぶ教科教育 8 初等家庭科教育（pp. 13-22）, 京都市: ミネルヴァ書房.

## 学術論文

1. 瀬川朗. (2015). 1960年代の日教組における家庭科教科論の変容 —外崎光広らによる「中央試案」に対する批判から—. 日本家庭科教育学会誌, 第58巻第3号, pp. 153-163. (査読有)
2. 瀬川朗・河村美穂. (2016). 日本家庭科教育学会誌における教師研究の展開 —家庭科教師に関する調査研究を中心に—. 日本家庭科教育学会誌, 第59巻第3号, pp. 144-155. (査読有)

## 学会発表

1. 瀬川朗・河村美穂. (2014). 1970年代の家庭科教育理論書にみる教育課程編成案の形成. 日本家庭科教育学会第57回大会, 2014年6月29日, 岡山大学. (日本家庭科教育学会第57回大会研究発表要旨集 pp. 74-75)
2. 瀬川朗. (2014). 「労働力再生産論」をめぐる家庭科教育論争 —1960年代における外崎光広と高知県教職員組合家庭科研究会の主張に焦点をあてて—. 教育史学会第58回大会, 2014年10月4日, 日本大学. (教育史学会第58回大会発表要綱集録 pp. 58-59)
3. 瀬川朗. (2015). 家庭科教師のライフヒストリーとカリキュラム —先行研究の分析を通じて—. 日本教師学学会第16回大会, 2015年2月28日, 日本女子大学. (日本教師学学会第16回大会要旨集 pp.14-15)
4. 瀬川朗・河村美穂. (2015). 『日本家庭科教育学会誌』における教師研究の展開 —家庭科教師に関する調査研究を中心に—. 日本家庭科教育学会第58回大会, 2015年6月28日, 鳴門教育大学. (日本家庭科教育学会第58回大会研究発表要旨集 pp. 112-113)
5. 瀬川朗. (2015). 高等学校家庭科における科目「家庭一般」の成立過程と山本キクの役割. 教育史学会第59回大会, 2015年9月27日, 宮城教育大学. (教育史学会第59回大会発表要綱集録 pp. 128-129)
6. 瀬川朗. (2015). 「大学家庭科教育研究会のいままでとこれから 5」(ゲストスピーカー) —初期の大家研における家庭科教育史研究に学ぶ—. 大学家庭科教育研究会第162回例会, 2015年12月12日, 東京学芸大学.

7. 瀬川朗・河村美穂. (2016). カリキュラム開発者としての家庭科教師像の変遷 —家庭科教師に求められる資質・能力に関する言説から—. 日本教師学学会第 17 回大会, 2016 年 3 月 6 日, 奈良学園大学. (日本教師学学会第 17 回大会要旨集 pp. 86-87)
8. 瀬川朗. (2016). 日教組中教研家庭科部会による「中央試案」(1961 年)の作成過程 —「生活」の捉え方に着目して—. 日本カリキュラム学会第 27 回大会, 2016 年 7 月 3 日, 香川大学・香川大学教育学部附属高松小学校. (日本カリキュラム学会第 27 回大会発表要旨集録 pp. 173-174)
9. 瀬川朗・河村美穂. (2016). 女子向き科目「家庭一般」の成立と展開 —学習指導要領のカリキュラム構造における「生活」の位置づけ—. 日本家庭科教育学会第 59 回大会, 2016 年 7 月 10 日, 朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンター. (日本家庭科教育学会第 59 回大会研究発表要旨集 pp. 184-185)
10. 瀬川朗. (2017). 家庭科教師のカリキュラム観の形成における生活経験が与える影響 —質問紙調査をもとに—. 日本教師学学会第 18 回大会, 2017 年 3 月 4 日, 早稲田大学. (日本教師学学会第 18 回大会要旨集 pp. 46-47)
11. 瀬川朗・河村美穂. (2017). 家庭科教師の意図するカリキュラムと私的生活経験 —「目標」に関する記述の質的内容分析をもとに—. 日本家庭科教育学会第 60 回大会, 2017 年 6 月 25 日, 国立オリンピック記念青少年総合センター. (日本家庭科教育学会第 60 回大会研究発表要旨集 pp. 110-111)
12. 若月温美・河村美穂・小清水貴子・椎谷千秋・千葉悦子・滝本浩世・仲田郁子・中村恵美子・松井洋子・松岡文子・瀬川朗. (2017). 家庭科教師の成長に関する研究 —教職経験におけるエピファニーに焦点化して—. 日本家庭科教育学会第 60 回大会, 2017 年 6 月 25 日, 国立オリンピック記念青少年総合センター. (日本家庭科教育学会第 60 回大会研究発表要旨集 pp. 184-185)
13. *Segawa, A.* (2017). Influence of Home Economics Teachers' Personal Life Experiences on Curriculum Orientation: A Quantitative Study. Asian Regional Association for Home Economics 19th Biennial International Congress, August 7, 2017, National Olympics Memorial Youth Center, Tokyo, Japan. (Asian Regional Association for Home Economics 19th Biennial International Congress Book of Abstract, p. 30)
14. *Segawa, A. & Kawamura, M.* (2017). Exploring relationships between curriculum orientations and family life experience of home economics teachers in Japan. Association for Teacher Education in Europe 42nd Annual Conference, 23 to 25 October 2017, Dubrovnik, Croatia. (Association for Teacher Education in Europe 42nd Annual Conference Book of Abstract, p. 276)
15. 瀬川朗・宮野尚. (2017). 教師によるプロジェクト型カリキュラム開発の成立条件の探究. 東京学芸大学連合学校教育学研究科第 14 回研究討論会, 2017 年 12 月 9 日, 弘済

会館.

16. 河村美穂・若月温美・瀬川朗. (2018). ライフヒストリーにおけるエピソードからみる教師の成長：家庭科教師による9つのライフヒストリーを用いて. 日本教師学学会第19回大会, 2018年3月3日, 甲南大学. (日本教師学学会第19回大会要旨集 pp. 32-33)
17. 瀬川朗・河村美穂. (2018). ナラティブ・アカウントにみる教師の私的生活経験のカリキュラム・デザインへの影響. 日本教師学学会第19回大会, 2018年3月3日, 甲南大学. (日本教師学学会第19回大会要旨集 pp. 34-35)
18. 瀬川朗・河村美穂. (2018). ナラティブ・アプローチによる家庭科教師のカリキュラム・デザインと私的生活経験の関連の検討. 日本家庭科教育学会第61回大会, 2018年7月7日, 茨城大学. (日本家庭科教育学会第61回大会研究発表要旨集 pp. 30-31)
19. 瀬川朗・田島諒子・佐々木敏. (2018). 血中25(OH)D濃度と骨の健康・ビタミンD摂取・日光曝露関連のレビュー —食事摂取基準2020年版策定に向けて—. 第65回日本栄養改善学会学術総会, 2018年9月5日, 朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンター. (第65回日本栄養改善学会学術総会講演要旨集 p. 212)
20. 瀬川朗・河村美穂. (2019). 家庭科教師の自伝的ナラティブにおける職業生活経験と個人的生活経験. 日本家庭科教育学会第62回大会, 2019年6月30日, 金城学院大学. (日本家庭科教育学会第62回大会研究発表要旨集 pp. 64-65)
21. Segawa, A. (2019). A Mixed Method Study on Home Economics Teachers' Beliefs about Curriculum Design. Association for Teacher Education in Europe 44th Annual Conference, 13 to 16 August 2019, Bath Spa University, Bath, UK. (Association for Teacher Education in Europe 44th Annual Conference Book of Abstract, p. 109) .
22. Segawa, A. (2019). Experienced Teachers' Knowledge and Skills for Teaching Home Economics: Focusing on the Acceptance of Learner-centered Orientation. International Conference on 'WAZA': Craft Knowledge and Skills in Teaching & Nursing, 9 to 10 November 2019, Waseda University, Tokyo, Japan. (Abstract Book of International Conference "How People Learn 'WAZA': From the Educational Field of Teaching and Nursing," p. 18-19) .

## その他

1. 菊野暁・瀬川朗. (2016). 三角形の住宅の間取りを考える (第7回住教育授業づくり助成 実践報告). 一般財団法人住総研 授業実施例報告書.
2. 河村美穂・小清水貴子・椎谷千秋・千葉悦子・滝本浩世・仲田郁子・中村恵美子・松

- 井洋子・松岡文子・若月温美・秋谷博子・瀬川朗（家庭科の授業を創る会）.（2016）. 2015, 2016 年度研究助成グループ研究計画「ライフヒストリーでたどる家庭科教師の成長」. 日本家庭科教育学会関東地区会報, No. 33, p. 10.
3. 瀬川朗.（2016）.「大学家庭科教育研究会のいままでとこれから 5」—初期の大家研における家庭科教育史研究に学ぶ—. 大学家庭科教育研究会会報 通巻 132 号 pp. 4-7.
  4. 瀬川朗.（2016）. 教師のライフヒストリー研究. 家庭科の授業を創る会編『9つのライフヒストリーにみる家庭科教師のくらしとキャリア』. pp. 8-9.
  5. 瀬川朗.（2016）. 教師による自伝的ライフヒストリー.「家庭科の授業を創る会編『9つのライフヒストリーにみる家庭科教師のくらしとキャリア』」. pp. 18-21.
  6. 河村美穂・小清水貴子・椎谷千秋・千葉悦子・滝本浩世・仲田郁子・中村恵美子・松井洋子・松岡文子・若月温美・秋谷博子・瀬川朗（家庭科の授業を創る会）.（2017）. 2015, 2016 年度研究助成グループ中間研究報告「ライフヒストリーでたどる家庭科教師の成長」日本家庭科教育学会関東地区会報, No. 34, p. 10.
  7. 瀬川朗.（2018）. 新刊紹介『楽しもう家政学—あなたの生活に寄り添う身近な学問』. 日本家庭科教育学会誌, 第 60 巻第 4 号, p. 214.
  8. 河村美穂・小清水貴子・椎谷千秋・千葉悦子・滝本浩世・仲田郁子・中村恵美子・松井洋子・松岡文子・若月温美・秋谷博子・瀬川朗（家庭科の授業を創る会）.（2018）. 2015, 2016 年度研究助成グループ成果報告「ライフヒストリーでたどる家庭科教師の成長」. 日本家庭科教育学会関東地区会報, No. 35, p. 7.
  9. 足立奈緒子・白井正美・瀬川朗・田島諒子.（2018）. 骨の健康状態と血中ビタミン D 濃度の関連および, ビタミン D 摂取量・日光曝露量と血中ビタミン D 濃度の関連. 日本人の食事摂取基準（2020 年版）の策定に資する代謝性疾患の栄養評価並びに各栄養素等の最新知見の評価に関する研究 平成 29 年度総括・分担研究報告書（研究代表者・佐々木敏）, pp. 167-202.
  10. 河村美穂・小清水貴子・椎谷千秋・千葉悦子・滝本浩世・仲田郁子・中村恵美子・松井洋子・松岡文子・若月温美・瀬川朗（家庭科の授業を創る会）.（2019）. 2017, 2018 年度研究助成グループ成果報告「子どもたちの『主体的で深い学び』を支える家庭科教師のリフレクション—授業経験の振り返りから家庭科の授業を考える（ワークショップ形式で）—」. 日本家庭科教育学会関東地区会報, No. 36, p. 8.

（2020 年 4 月作成）